

1. 本授業科目の基本情報			
講義名（コード）	TCM124A	TCM_医療通訳基礎Ⅱ	
科目名（コード）	TCM124	TCM_医療通訳基礎Ⅱ	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1 年生
対象コース	CM1	単位数	2単位30
授業担当者	伊東かつみ	時間数	
成績評価教員	伊東かつみ	講義期間	秋期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄			講義

2. 本授業科目の概要	
到達目標・目的	医療従事者として現場で即戦力となる確かな知識と技術を持ち、異文化に対する理解と医療の倫理観を備え、通訳者としての最低限の言語力とコミュニケーション力を身につけた人材になる。
全体的内容と概要	前期では主にテキストの内容の理解と逐次通訳 2 段階に分ける。●以下の基礎能力については毎回授業のはじめにクイズやロープレで練習①発音；初回でなまりの原因や、克服方法の基礎を学び、単語クイズ、発表など自己矯正させる。 ②ヒヤリング；毎回で聞き取りのクイズをして、自己能力の自己分析をする。単語からはじめ、日本の漢字の想起、カタカナ、単文、後期はテキストにあるような複文まで。できない場合は宿題を出し、提出させる●記憶の訓練については逐次通訳に入ってから、時間をとって練習した後、毎回授業で練習 1 5 分練習。到達レベルは15秒前後の内容は1度聞いてほぼ100%、30秒前後の内容は2度聞いて80%ぐらい記憶できる。●逐次通訳では、シャドーイングを3回に分けてゆっくり練習する。ノートテイクは1回の授業で練習。その他中国人の弱点項目；◎そこ、あそこの区別、◎い形容詞とな形容詞の区別、◎動詞の名詞化、◎尊敬語と謙譲語のやりもらい、◎自他動詞と助詞の関係、◎使役；させるとその敬語の表現、◎誤解されるような表現 については時間をとって練習する。
授業時間外の学修	宿題で出したペア練習、グループ討論などは授業以外に、学生同士で連絡、練習し、授業で発表できるように準備する。
履修上の注意事項等	授業中のゲームやクイズは真剣に取り組むこと。授業中の発表等で得たグループの得点から割り出した個人の点数は、チームワーク、主体性、表現力として平常点 1 0 %とする。発言、質問、宿題提出など授業中に獲得した個人の点数は出席日数に加味して、日常成績 3 0 %とするので、間違いを恐れず、積極的に発言すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	聞き取のメモの仕方	●聞き取れない単語の推測 5w 2 h を使って分析 ●全体の意味の理解 能力診断アンケート
2	2-2. 通訳に必要な通訳技術 ●スキミングの仕方の理解 ●文の分解	●N 1 の資料をつかった聞き取り練習、場面を想像して、 ●場面のイメージ、メモの取り方、記号の決め方 ①理解、②記憶する ③ノートのとり方
3	2-2 通訳に必要な通訳技術 ●スキミングの仕方の理解 ●文の分解	●キーワードの見つけ方 ●助詞の解説；自動詞と他動詞、をとが
4	助詞の練習	●にとでの用法 ● 助詞全般 練習
5	助詞の練習 2-3. 逐次通訳とは 逐次通訳のプロセス	●はとが の区別、 ●形容詞と形容動詞＋名詞、中国語的日本語
6	(2) 訓練の前提となる基礎的な能力	●N 1 の資料をつかった聞き取り練習 ●を の特別な用法
7	逐次通訳 1 2-4. 逐次通訳の前提となる能力強化	★シャドーイングの練習、 ペアで答え合わせの後 グループで結果を討論
8	逐次通訳演習 2 ②トランスクリプション 聴き取り	★トランスクリプション プロセスを書き取る。文法の理解があいまいだった、聞いたことを忘れてしまったなど ノートに書き、統計を取る。グループで討論
9	逐次通訳演習 2 ②トランスクリプション 聴き取り	★短期的な記憶力を強化する。 ★ラギング
10	逐次通訳演習 3 ③ラギング ④リテンション、リブ	★ペア練習、グループ練習、N 1 聞き取り練習
11	逐次通訳演習 4 ⑤パラフレージング ⑥クイックレスポンス	★短期的な記憶力を強化する。 ★ラギング ★リテンション・リプロダクション★パラフレージング ★クイックレスポンス 一通りの流れとやり方を理解 ペアで練習、グループで討論
12	逐次通訳演習 5 2-5. ノートテイキングの理論と練習	ノートテイキングの理論と練習、●N 1 の資料をつかったメモの取り方
13	テストの説明	テストの練習 後期のまとめ
14	テスト	ペーパーテスト；①体の部分②病気の名前と症状③法律、現状④テキストの内容；言葉の説明 ⑤中国語の翻訳、⑥日本語の翻訳 リスニング；①医師の説明を通訳する ②患者の発話通訳③医療表現の聞き取り ④医師に患者の要求を伝える⑤倫理に関する問いへの答え
15 8.3	テストの解説	ペーパーテスト；●間違えやすいところの復習。●翻訳の典型的間違い⇒自然な表現 リスニング；●聞き取り；キーワード、話しの背景、相手のニーズ、文脈の理解と構築●翻訳話し方；単語の選択、話しの文脈の表現、話し方の効果。失敗の総括と他者の答え方の評価、今後の学習の方法をグループで発表。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	「医療通訳」一般財団法人 日本医療教育財団 著（厚生労働省配布）
参考文献・資料等	医療通訳学習テキスト
備考	進度は変更になることがあります。 水曜日4限 ・本講師は、企業・公的機関や大学等の高等教育機関にて、指導を歴任している。本校での実務者